

Vol.142

2013

1

タウン  
情報

世帯数	3,118
人口	7,894
男	3,799
女	4,095

(11月末現在の地区人口)

# きくがわ

# 迎春

## 秋の叙勲受章

—山本 迂君さん(中野)

## 菊川の新成人 菊川探訪

## 笑顔リレー 菊川ニュース

## 菊川日和 イベントカレンダー

### イベントカレンダー ※日程は変更の場合があります。

イベント	日時・場所	備考
新春登山 (四熊ヶ嶽)	2013年1月1日(火) 5:20 上野八幡宮発 6:00 四熊公民館発	問合せ：四熊公民館 63-0108
新春ふれあい懇話会	2013年1月11日(金) 18:30~ JA周南徳山支所	問合せ：菊川公民館 62-2801
ハイキング大会	2013年2月11日(月) 四熊ヶ嶽下権現広場	詳細は後日配布

サークルゆりかご  
2/2(土)  
10:00-11:30  
菊川公民館  
お父さんもぜひ★

きくがわ  
ニュース

第33回

## 菊川まつり大賑わい



11月18日(日)に菊川小学校にて第33回目となる菊川まつりが開催されました。好天に恵まれた当日は家族連れや友人同士での来場者で溢れ会場は活気に満ちていました。

## ママたちも！母推です。

私達は、周南市から委託を受けている母子保健推進委員(母推)です。周南市の母推は136名で、そのうち菊川地区の母推は、現在14名です。活動としては妊婦さんや0~4歳の親子のお宅を訪問して、助言をしたり、保健師さんに相談して訪問をお願いしたりします。また、年4回の研修を受け、3歳児検診や育児相談の手伝いもします。サークル活動(サークルゆりかご)も年4回催し物を計画・開催しています。現在、菊川も新築の家が増え、菊川生まれの赤ちゃんも増えてきています。大変な時もあります。が、親子の笑顔や様子を見るとこちらも元気をもらうことが多いです。もし貴方に「母推を頼める？」と話が来たらぜひ受けていただきたいと思えます！

## 菊川つ子大活躍！

本誌の昨年4月号でご紹介した兼重紗里さんが大分県柳ヶ浦高校の一員として1月に静岡で行われる第21回全日本高等学校女子サッカー選手権大会への出場を決めました。また、兼重さんのお兄さんの泰地君(聖光高)が第91回全国高校サッカー選手権大会に出場します。同部には菊川出身の山田恭平君、広中賢大君も所属しています。頑張れ菊川つ子！



兼重泰地君(県予選決勝)



中列右から5番目が兼重さん

## 足腰らくらく教室OB会参加者募集

- みんなで楽しく体を動かそう！
- 日時 平成25年1月24日(木) 13時半~15時
- 場所 菊川公民館 1階 集会室
- 対象 おおむね65歳以上で、医師による運動制限のない人
- 内容 家でも継続してできる簡単な体操等
- 持物 運動のできる服装、タオル、補給用飲料 室内用シューズ
- 費用 無料
- 備考 足腰らくらく教室に参加したことがない方も大歓迎です。
- 問合せ・申込み 周南市役所 高齢者支援課 (22-8462)

## 菊川日和

11月18日(日) 小春日和

待望の第33回菊川まつり。おぼちゃんお元気隊は、仕切り人トシ子さん(仕切る・仕切る)と昔なでしこ6名で牛井の出店をした。牛肉はふじやさんと調達し、たれは誰かさんの愛をひとつまみ入れた手作り、味噌汁の具の白菜大根は地元産。

昨年より出足が早く10時頃からお客さん。「あら、いらっしやい。えらい早いじゃ」「牛井ひとつ」「店長牛井ひとつ御飯並で具たっぷりね。」流れ作業でお盆に牛丼、味噌汁、お茶をセットして「お待たせしました。」こんな調子で11時頃には行列ができ、昔なでしこ達はてんやわんやのフル回転。12時過ぎに限定「百食が完売した。」「バンザイ」「おかげさまで完売しました。ありがとっさん。ワイルドだぜ。」と張り出して閉店した。



「皆、ご苦労さん、忙しかったね。ヤレヤレ、やれんのか、くたびれたのう。」とフランクフルトのどろしで乾杯。超うまいッス。人生下り坂最高よ。

新年のごあいさつ

住みよい菊川をつくる会

会長 小林 雄二

「菊川地域っていいね」といわれるように

明けましておめでとうございませう。旧年中は住みよい菊川をつくる会に何かとご支援を賜り誠にありがとうございました。皆様のおかげをもちまして、この菊川地域は周南市の中においても住みよい地域として、ランクされています。

今後とも、住みよい菊川をつくる会の目的とする「地域連帯感を深め、心のふれあう文化的で明るく住みよいまちづくり」を目標に「菊川地域っていいね、あったかいいね」といわれるように力一杯頑張っていきたいと思っております。皆さんのご協力のほど、どうぞよろしくお願ひします。



2012年 秋の叙勲 瑞宝単光章 受章

山本

迂君さん (中野)



表彰状と勲章 自宅にて

「この度は受章おめでとうございませう。消防団での活躍に対して秋の叙勲を受章されました。」

（山）会社員だった昭和37年に、近所の団員に熱心に誘われたのが消防団との出会いです。全く経験も知識も無かったので、加見分団の一員として平成13年まで在籍させていただきました。

「長い消防団での活動を振り返っていかがですか。」  
（山）桂八粳の山奥で起きた山林火災が印象深いですね。夜中で周りが見えない状況で、向道 富岡分団、消防署と協力して消火活動を行いました。  
「加見消防の分団長としても活躍されています。」

（山）平成7年から2期6年ほど務めました。現場の指揮や他分団との連携など、仲間の協力があったおかげで頑張ることが出来ました。

「消防団の一員でよかったと思えることはありませんか。」  
（山）訓練を通して規律や自覚を持つことを学びました。そして、打ち解けられる仲間と出会えたことですね。訓練後に家でみんなとわいわい騒いだこともありました。  
「多くのお仲間も受章を喜ばれたのではないのでしょうか。」

（山）そうですね。この受章は私だけのものではないと強く思います。家族や仲間の理解・協力があつたからこそですし、本当に感謝しています。  
「現役団員へのメッセージをお願いします。」  
（山）活発な人も多いし、自分を磨いてほしいですね。活躍を期待しています。  
「最後に今後の目標はありますか。」  
（山）中野で生まれて中野分校で学びました。これからも出会いを大切にしながらふるさとの中野でのんびり過ごしていきたいと思っています。

祝 菊川の新成人

「新成人おめでとうございませう。」  
（二人）ありがとうございます。  
「お二人は昔からのご友人と聞いています。」

（井）小学生からの付き合いですね。  
（柳）そうですね。スポ少でも一緒に野球をやっていました。

「中学校でも野球を？」  
（井）はい。でも学校の野球部ではなくて、二人とも光市にある硬式野球のクラブでプレーしました。

（柳）学校終わった後に、光まで行って練習してましたね。テスト期間中も休みが無かったのを覚えています（笑）  
（井）でも、硬式球に慣れていたおかげで高校野球にもすんなり馴染めました。練習は大変でしたけど。

「そんな仲良しのお二人は社会人二年目です。お仕事はどうですか？」  
（柳）消防署に勤めています。責任ある仕事で大変ですけど、先輩の姿を見習ってまいります。

（井）5時半ごろに起床して、6時半には家を出ます。最初はしんどかったけど、今は随分慣れました。寝るのも早くなりましたね。機械や設備の保全の仕事なんですけど、覚えることが本当に多くて大変です。



柳井 教輔さん



井上 綾さん

「菊川で育つたお二人にとって、菊川の好きな所はありますか？」  
（井）西武井に住んでいますが、夜景なんかの眺めがすごくいいですよ。  
（柳）田舎らしい静けさがあって、すごく落ち着きます。

「菊川で育つたお二人にとって、菊川の好きな所はありますか？」  
（井）西武井に住んでいますが、夜景なんかの眺めがすごくいいですよ。  
（柳）田舎らしい静けさがあって、すごく落ち着きます。

「休日はどういった過ごし方をされていますか？」  
（井）ドライブに行ったり、職場の野球部の試合に出たりしています。  
（柳）二人で地区のソフトボール大会に出たんですよ。ついつい熱くなつてしまいました（笑）あとは県外にいる友達が集って来た時に会って遊ぶのが楽しみです。  
「今年は何者ですか。」  
（井）「ハタチ」になつてみて特別に思うことはありませんか？」  
（柳）意外に普通ですが、選挙にはしっかり行くつもりです。  
（柳）僕も特別にはありませんが、政治のことなど職場でも話が出るし、勉強しないとイケませんね。  
「最後にハタチの抱負をお願いします。」  
（井）ハタチになつていよいよ大人です。仕事はもちろん私生活す！



(12年前の様子)

菊川 探訪

～第11回～

岩屋寺

巳年・岩屋寺の御開帳

岩屋寺の歴史は古く、当初は裏山から得た観音様を草堂に安置したのが寺の始まりで、その後弘法大師が唐で勉強し、日本に帰った直後の大同年間創建されたお寺だ。周南市指定文化財として、「木造聖観音菩薩立像（鎌倉時代前期作）」と「笠婆（1347年の銘）」がある。尚、当寺は、周防33観音の16番札所に当たり、ご本尊柄香炉（上記市指定）は、秘仏で巳年にあたる今春の3日間（4月7～9日）御開帳される。  
この御開帳の行事の一環として、「稚児祭」（4月7日）も行われる。この日は、午前中「土砂加持」と言う法要が行われ、午後から、「流れ灌頂」の中で、可愛い子供達（年齢は12歳位まで）の稚児行列がある。昔は、舟に12年間の供養物を積み、富田川に流す行事であったが、現在は、稚児行列と共に、河原で供養物を燃やす行事になっている。  
現任職 32世の原田 孝禪さん。「稚児祭」の参加を檀家以外の人からも広く募集しているとのことだ。12年に一度の一大行事にご興味がある方はぜひ参加してみてください。  
（お問合せ先 田坂 勉さん 電話 63-6719）

笑顔リレー

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部（菊川公民館内）までご連絡ください。



原原 桜花ちゃん (4才) 柊花ちゃん (1才)



てるきくん (3才) ともゆきちゃん (6才) あやねちゃん (1才)

3人仲良く元気に大きくなれ！